

第1回福島眼科スプリングセミナー

(日本眼科学会専門医制度生涯教育認定事業 No.29251)

プログラム

開催日時:平成30年3月3日(土) 17:00 ~ 19:00

開催会場:郡山ビューホテル 5F「プリエール」

〒963-8004 郡山中町3-1 TEL:024-924-1111

総合座長:福島県立医科大学 眼科学講座 教授 石龍鉄樹 先生

特別講演 I 17:00 ~ 18:00

「最適化が進むデジタル白内障手術の方向性」

演者:岩手医科大学 眼科学講座 助教 木澤純也 先生

特別講演 II 18:00 ~ 19:00

「網膜疾患における“見え方の質”を探る」

演者:筑波大学医学医療系眼科 講師 岡本史樹 先生

- ・会費 1,000円
- ・講演終了後、情報交換の場をご用意しております。
- ・本セミナーは専門医制度の認定事業となっております。
- ・登録カードをお忘れなくご持参ください

共催:福島眼科スプリングセミナー/興和創薬株式会社

最適化が進むデジタル白内障手術の方向性

キザリジュンヤ

岩手医科大学 眼科学講座 木澤純也 先生

平成 14 年 岩手医科大学医学部卒業

平成 18 年 岩手医科大学医学部大学院卒業、学位授与

平成 18 年 岩手医科大学眼科 助教

平成 19 年 岩手県立久慈病院眼科 科長

平成 21 年 岩手県立二戸病院眼科 科長

平成 25 年 岩手医科大学眼科 助教

現在に至る

手術手技や手術機械および眼内レンズ（IOL）が進化し、2.0mm 前後の切開創から極小切開白内障手術が安全かつ低侵襲で可能となり、術翌日からよく見えることが当然のことであると考えている患者さんが、年々増えている。さらに、Femtosecond Laser を用いた最先端の白内障手術が本邦でも急速に拡大し、付加価値が高い白内障手術を希望する患者さんも多く、術後の視機能に対する高い正確性が求められる時代となっている。

術後の視機能における正確性を追求するため、Image Guided System により検査結果を手術顕微鏡と Link させる技術、術中に Realtime で IOL 度数を測定する方法、前眼部光干渉断層計による術中検査法など、白内障手術でのデジタル技術の開発が進んでいる。そこで、講演では最適化が進んでいるデジタル白内障手術について、現状と今後の方向性について解説する予定である。

網膜疾患における“見え方の質”を探る

カモトマキ

筑波大学医学医療系眼科 講師 岡本史樹 先生

略歴

- 1994年 筑波大学医学類卒業
- 1997年 茨城県立中央病院眼科
- 1998年 土浦協同病院眼科
- 2000年 総合守谷第一病院眼科医長
- 2001年 筑波大学臨床医学系眼科講師

抄録

黄斑前膜，黄斑円孔，網膜剥離，網膜静脈分枝閉塞症に伴う嚢胞様黄斑浮腫などの黄斑が障害されている患者では，視力低下とともに様々な視機能障害をきたす．その代表が変視や不等像視である．実臨床では，治療を行い視力が良好となっても“物が歪んで見える”“ものが小さく見える”などの愁訴を聞くことは少なくない．変視は物が歪んで見えること，不等像視は左右眼で物の大きさが異なって見えることであり，軽度の場合は問題にならないが，中等度以上になると日常生活に影響を及ぼすとされている．我々の研究では，上記の網膜疾患群において全体の9割以上が変視や不等像視を呈することが分かった．そして疾患によって変視や不等像視の特徴が異なることも分かってきた．本講演では変視と不等像視の測定法とその意義，網膜疾患患者の変視と不等像視について具体的な症例を提示し，さらに治療による視機能予後と網膜形態について，最新の知見を交えながら解説する．